

ビカルタミド「NK」による

治療を受けられる方へ

〔監修〕 国保旭中央病院副院長・泌尿器科 主任部長 中津 裕臣

●医療機関連絡先

●緊急時・夜間連絡先



CONTENTS

はじめに	3
ビカルタミド「NK」を服用する前に確認してください	4
前立腺がんについて	5
前立腺がんとは	5
前立腺がんの治療	6
①前立腺がんの診断から治療の流れ(例)	6
②前立腺がんの治療方法	8
内分泌療法(ホルモン療法)について	10
内分泌療法(ホルモン療法)の副作用は?	13
ビカルタミド「NK」について	14
ビカルタミド錠80mg「NK」	14
服用方法	15
ビカルタミドOD錠80mg「NK」	16
服用方法	17
前立腺がん治療のために(記録のページ)	18
PSAの推移を記入しましょう	22

はじめに

ビカルタミド「NK」は前立腺がん治療薬のうち内分泌療法(ホルモン療法)と呼ばれるグループに属するお薬です。このお薬は、前立腺がん細胞に対する男性ホルモンの働きを抑え、がん細胞の増殖を抑えます。

この小冊子ではビカルタミド「NK」を正しく理解し、服用していただくために、お薬の作用や効果、副作用、服用時の注意点などを解説します。分かりやすくまとめてありますので、是非ご一読ください。分からないことや疑問に思ったことは医師・薬剤師・看護師など医療スタッフにお尋ねください。





ビカルタミド「NK」を服用する前に 確認してください

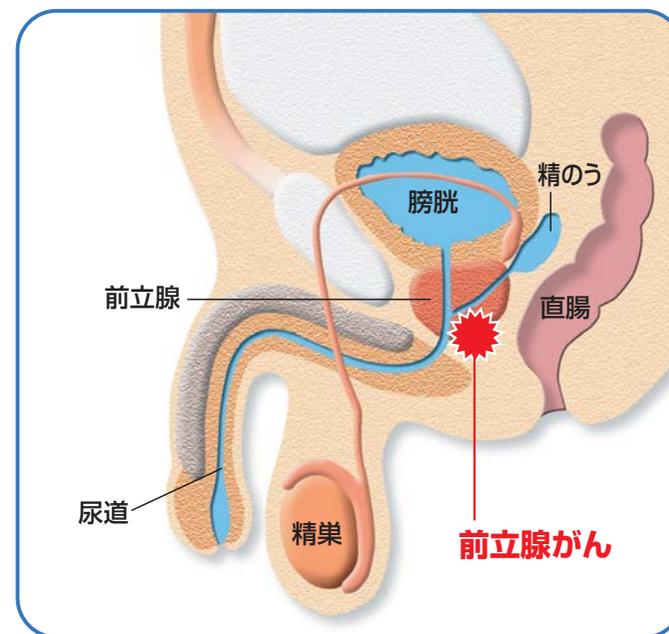
- 現在、他のお薬を服用されている方は服用している全てのお薬について、医師・薬剤師・看護師など医療スタッフに伝えてください。お薬がお互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性があります。
- 以前にお薬を服用され、アレルギー症状が出たことがある方は必ず、医師・薬剤師・看護師など医療スタッフに伝えてください。
- 肝障害のある方は、ビカルタミド「NK」を慎重に使う必要がありますので、服用する前に医師・薬剤師・看護師など医療スタッフに伝えてください。



前立腺がんについて

前立腺がんとは

前立腺は男性だけにある臓器で、膀胱の下にあり尿道を取り囲んでいます。前立腺がんはこの前立腺にがんができる病気です。高齢者に多く、90%以上が60歳以上の人で占められています。初期には自覚症状はほとんどありません。がんの進行に男性ホルモンが関与していることから、他のがんに比べホルモン療法が効きやすいという特徴があります。

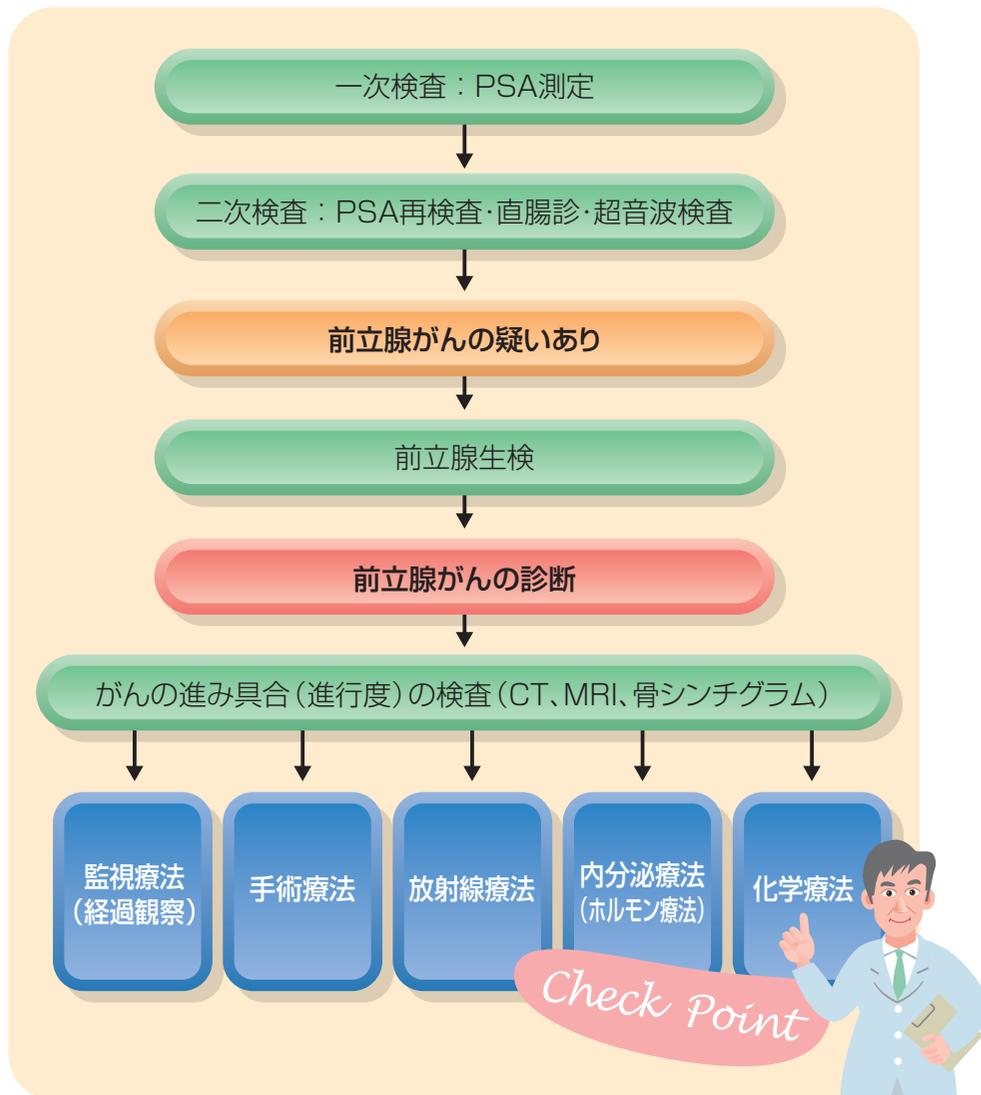




前立腺がんについて

前立腺がんの治療

①前立腺がんの診断から治療の流れ(例)



左図は診断から治療までの一般的な流れです。

PSA (ピーエスエー：ぜんりつせんとくいこうげん前立腺特異抗原)は前立腺の細胞で作られるタンパク質です。前立腺がんになると血液中に流れ出るPSAが急激に増えてきます。血液検査でPSA値が基準値(4.0ng/mL)よりも高ければ、前立腺の病気である可能性が高く、次の二次検査に進みます。また、PSA検査は治療の効果判定にも使われます。

二次検査ではPSAの再検査や直腸診^{※1}、超音波検査^{※2}を行います。これらの二次検査でがんが疑われる場合は、確定診断のため、前立腺生^{せい}検を行います。

前立腺生検では専用の針で前立腺組織を採取し、がんがあるかどうか、また、がんがあった場合は悪性度を確認します。

がんと診断された場合は、さらに詳しい画像診断(CT^{※3}、MRI^{※4}、骨シンチグラム^{※5})によりがんの進み具合(進行度)を調べます。がんの悪性度や進み具合、患者さんの年齢、合併症の有無などによって治療法が選択されます。

- ※1 直腸診：肛門から直腸に指を入れて、前立腺の状態(表面の形状やかたさ)を調べます。
- ※2 超音波検査：肛門から棒状の超音波探子(プローブ)を直腸内に挿入し、前立腺の内部を画像で観察します。
- ※3 CT：リンパ節の転移や離れた場所の臓器への転移を調べます。
- ※4 MRI：がんが周辺の臓器に広がっていないか調べます。
- ※5 骨シンチグラム：骨への転移を調べます。



前立腺がんについて

②前立腺がんの治療方法

前立腺がんの治療には、「監視療法（経過観察）」、「手術療法」、「放射線療法」、「内分泌療法（ホルモン療法）」、「化学療法」などがあります。



がんの進み具合、悪性度、患者さんの年齢などから、治療法を決定します。

前立腺がんの進行の度合いによっては「監視療法（経過観察）」になる場合もあります。また、薬による治療も有効で、その中心になるのが内分泌療法（ホルモン療法）です。

監視療法 （経過観察）

進行の度合いによっては、すぐに治療を始めず、経過観察になることがあります。経過観察中は定期的にPSA検査等を受け、がんが進行してきた際に積極的な治療を開始します。

手術療法

がんが前立腺内にとどまっている場合は前立腺がんの根治療法（完全に治すための治療）として「前立腺全摘除術」が行われます。前立腺と精のうを含めて手術で取り除きます。

放射線療法

早期がんの場合に前立腺に高エネルギーの放射線を照射する治療が行われます。外から放射線を照射する方法と前立腺の中に放射線源を埋め込んで内部から照射する方法などがあります。

内分泌療法 （ホルモン療法）

前立腺がんの多くは精巣や副腎*から分泌される男性ホルモンの影響をうけて増殖します。内分泌療法は男性ホルモンの分泌や働きを抑える治療法です。ビカルタミド「NK」は抗男性ホルモン剤の1つです。詳しくは次ページをご覧ください。

※副腎：腎臓の傍にあり、多種ホルモンを分泌する臓器です。

化学療法

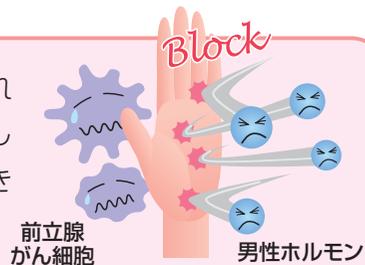
抗がん剤を使用してがん細胞の増殖をおさえます。内分泌療法が無効だった場合や、効きにくくなった場合に、抗がん剤で治療することがあります。





内分泌療法（ホルモン療法）について

前立腺がんは精巣や副腎から分泌される男性ホルモンの影響をうけて増殖します。この男性ホルモンの分泌や働きを抑える治療法が内分泌療法です。



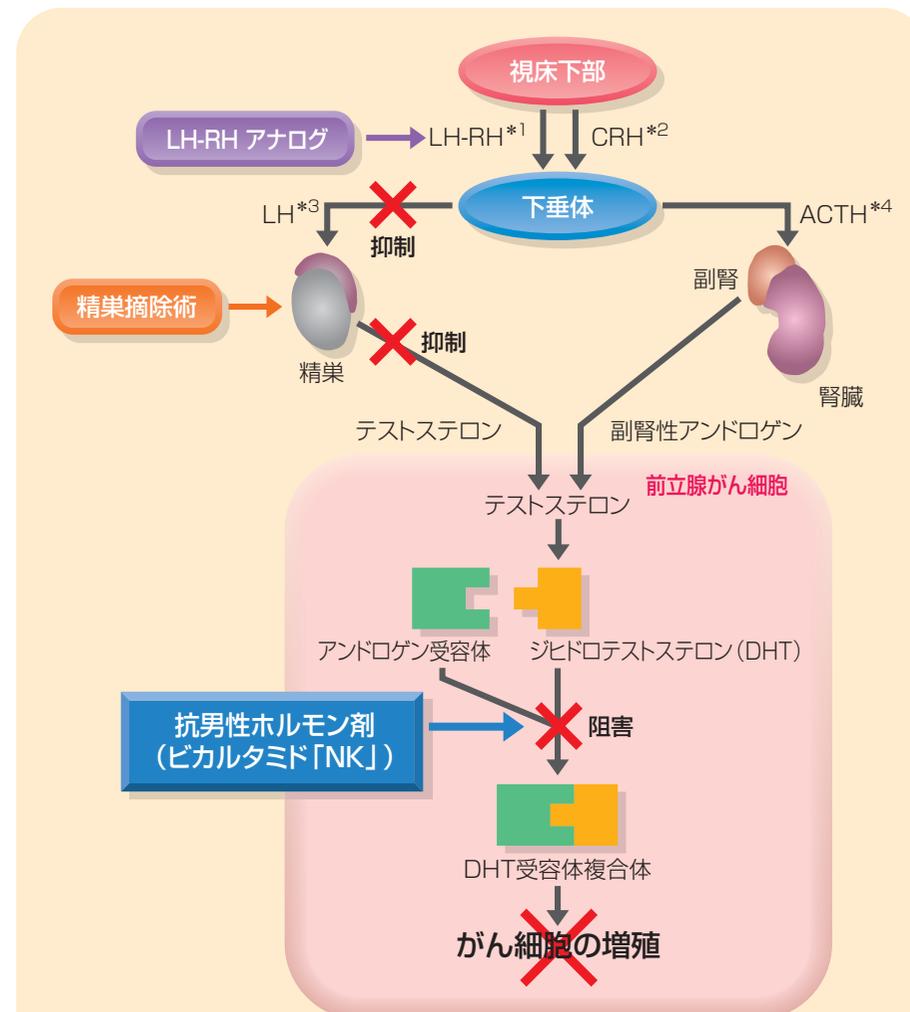
男性ホルモンの分泌を抑える治療法には、男性ホルモンを作る臓器である精巣を取り除く精巣摘除術とLH-RHアナログ製剤^{*1}や、副腎性アンドロゲンの産生を抑制する薬剤、女性ホルモン剤等があり、男性ホルモンの働きを抑える治療法には、抗男性ホルモン剤^{*2}があります。

抗男性ホルモン剤のひとつであるビカルタミド「NK」は、精巣摘除術もしくはLH-RHアナログ製剤と併用して使われることがあります。

※1 LH-RHアナログ製剤：精巣からの男性ホルモンの分泌を抑える注射剤です。
(LH-RHアゴニストまたはLH-RHアンタゴニスト)

※2 抗男性ホルモン剤：前立腺がん細胞内で男性ホルモンの働きを抑える内服薬です。

●内分泌療法（ホルモン療法）の作用の仕組み



- *1 LH-RH：性腺刺激ホルモン放出ホルモン
- *2 CRH：副腎皮質刺激ホルモン放出ホルモン
- *3 LH：性腺刺激ホルモン
- *4 ACTH：副腎皮質刺激ホルモン



内分泌療法（ホルモン療法）について

内分泌療法（ホルモン療法）は、前立腺がんの進行の度合いに関わらず、幅広い病期（ステージ）の患者さんが対象になる治療法です。特に進行期、転移のある場合の病期に効果が期待できます。また早期がんに対する手術や放射線療法の前や後に併用されることもあります。

患者さんの状況にあわせて治療方法を決定しますので、詳しくは医師にご相談ください。

Information



内分泌療法（ホルモン療法）の副作用は？

特に注意すべき副作用は以下のとおりです。

●肝機能障害・黄疸

からだがだるい、かゆみ、吐き気、食欲不振、発熱、
発疹、皮膚や白目が黄色くなる

* 定期的な肝機能検査が必要です。



●白血球減少、血小板減少

のどの痛み、発熱、歯茎や鼻からの出血、
手足に点状の出血や青あざがでやすい



●間質性肺炎

頭痛、息苦しい、
発熱、から咳



その他に女性化乳房、顔や体のほてり、性機能障害、骨密度低下などの副作用があります。

そのほかの副作用については、主治医、薬剤師及び看護師などの医療スタッフにご相談ください。

気になる症状があらわれた場合はすぐに医師・薬剤師・
看護師など医療スタッフに相談してください。





ビカルタミド「NK」について

ビカルタミド「NK」には、2つの剤形（錠剤及びOD錠）があります。
服用方法がちがいますが薬の効き目や安全性はどちらも同じです。

錠剤

製品名	ビカルタミド錠80mg「NK」
一般名	ビカルタミド
有効成分含量	1錠中80mg
外観	
剤形	<p>白色のフィルムコーティング錠</p>  <p>本体表示 ビカルタミド80NK</p>

服用方法

●服用量および回数

1日1回1錠服用します。



●服用方法

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で服用してください。



●服用し忘れた場合

決して2回分を一度に服用しないでください。気がついた時に1回分を服用してください。
ただし、次の服用時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分服用してください。



●間違って多く服用した場合

すぐに医師・薬剤師・看護師など医療スタッフに相談してください。



●その他の注意

薬は包装（PTPシート）から取り出して服用してください。
自分の判断でお薬の服用を中止するのはやめましょう。



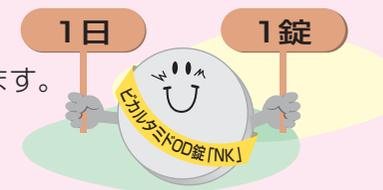
OD錠

製品名	ビカルタミドOD錠80mg「NK」	
一般名	ビカルタミド	
有効成分含量	1錠中80mg	
外観		
剤形	白色の口腔内崩壊錠 	本体表示 ビカルタミドNK：80

服用方法

●服用量および回数

1日1回1錠服用します。



●服用方法

このお薬は、水ありでも水なしでも飲むことができます。口の中に入れて、舌で軽くつぶすと溶けますので、口の中にとどめず、唾液か水で飲んでください。

【注意】 からだを起こした状態で飲んでください。

●服用し忘れた場合

決して2回分を一度に服用しないでください。気がついた時に1回分を服用してください。

ただし、次の服用時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分服用してください。



●間違っ多く服用した場合

すぐに医師・薬剤師・看護師など医療スタッフに相談してください。



●その他の注意

薬は包装（PTPシート）から取り出して服用してください。自分の判断でお薬の服用を中止するのはやめましょう。



前立腺がん治療のために（記録しておきましょう）

日々の治療経過を記載しましょう

実施日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
PSA値	ng/mL	ng/mL	ng/mL	ng/mL
治療内容				
気がついたこと				

日々の治療経過を記載しましょう

実施日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
PSA値	ng/mL	ng/mL	ng/mL	ng/mL
治療内容				
気がついたこと				



分からないことや不安なこと、治療中に気になる症状があったときは、すぐに医師・薬剤師・看護師など医療スタッフに連絡しましょう



日々の治療経過を記載しましょう

実施日	年	年	年	年
	月 日	月 日	月 日	月 日
PSA値	ng/mL	ng/mL	ng/mL	ng/mL
治療内容				
気がついたこと				

日々の治療経過を記載しましょう

実施日	年	年	年	年
	月 日	月 日	月 日	月 日
PSA値	ng/mL	ng/mL	ng/mL	ng/mL
治療内容				
気がついたこと				

